

福岡和白病院腎泌尿器外科で腎尿管結石症に対して 経尿道的結石破砕術を受けられた患者様へ

当院腎泌尿器外科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。また、この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	当院における吸引アクセスシースを用いた経尿道的結石破砕術（TUL）の初期経験
当院の研究責任者（所属）	谷川堅太郎
本研究の目的	尿路結石患者に対する吸引アクセスシースを使用した手術の有用性、安全性の検討を行い、今後の手術治療を確立することを目的とします。 
調査データ該当期間	西暦 2024 年 1 月 1 日～西暦 2026 年 4 月 30 日
研究方法	●調査の対象となる患者様● 西暦 2024 年 1 月 1 日から西暦 2026 年 4 月 30 日までに福岡和白病院腎泌尿器外科で吸引アクセスシースを使用して TUL を行った患者
	●使用するカルテ情報● 研究対象者について、下記の臨床情報を診療録より取得する。 1 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報（既往歴、過去の尿路結石治療歴）、結石の部位、大きさ、数、水腎症の有無） 2 血液所見（CBC、CRP、白血球分画、肝腎機能）、尿検査（白血球、細菌） 3 画像診断結果（手術前後の KUB、腹部エコー、CT） 4 治療内容（使用した吸引アクセスシースのサイズ、レーザーの種類） 5 結石除去率、合併症、入院期間、再入院率
	●試料や情報の管理● 情報は、研究代表機関である福岡和白病院にインターネットを介して提出され、集計、解析が行われた後、研究代表者が適切に保管・管理します。
個人情報の取り扱い	研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。 将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。

本研究の資金源・ 利益相反について	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	福岡和白病院 腎泌尿器外科 電話：092-608-0001（代表） 研究責任者：谷川堅太郎